



福岡県小郡市大板井1143-1

電話番号 0942-72-7221

FAX 0942-72-7222

そら

発行人

こぐま福祉会「そら」編集委員会

<http://www.koguma.ed.jp>

今年の夏まつりは8月28日(日)に開催致しました。あいにくの雨模様にも関わらず、総勢519名の方にお越し頂きました。暑さに負けず笑顔満開の子ども達やご家族の方々をはじめ、いつもお世話になっている地域の皆様、お力添えして戴いたボランティアの方々のおかげで夏まつりを盛大に行う事ができました。深く感謝致します。

夏まつりの途中には、それぞれのグループの個性豊かな作品で飾られた神輿が登場しました。子ども達の「わっしょい! わっしょい!」の元気な掛け声と共に楽しそうに担ぐ姿は、会場内をよりいっそう賑やかにしてくれました。

ステージイベントではスイカ割りやスイカの早食い・ジュース早飲み競争、盆踊りなどが行われ、声援と笑いが飛び交い盛り上がりしました。

その他にも恒例のお化け屋敷、制作・体験コーナー、くじ引き、飲食コーナーなど各コーナーで、たくさん子ども達とご家族や地域の皆様方に楽しんで頂けた夏まつりとなりました。

皆様にとって素敵な「夏の思い出」になりましたら嬉しい限りです。夏まつりにお越し頂き、ありがとうございました。

(夏まつり実行委員 牟田)

心の窓



くわがたグループ
りゅうの しあた
龍野 志碧太くん

こんにちは、1歳を迎えた頃からこぐま学園にお世話になつています龍野志碧太の母です。

今年の5月でもう6歳を迎えました。あつという間だったとか長い6年間だったとか、簡単には言い表せない本当に濃い6年間でした。

母親になる準備も全くてきていなかった私の所に突然きてくれた志碧太は、お腹の中では何の問題もなく元気いっぱい成長してくれましたが、生まれた時から色々なことが少しづつ他の子と違い、寝ない飲まない泣きやまないなど、母子共にとても辛い思いをしました。

1回の授乳に2時間以上かかり、一日中全く寝てくれない日には病院へ相談にも行ったりしましたが「そんな子もいます」とだけ言われ、もうどうしていいのかも分からず泣いているばかりの日々でした。よほど辛かったのか、正直その頃の記憶があまりありません。今思えば、一生懸命訴えているのに母親にさえ気持ち分かってもらえなかつた志碧太の方が苦しかったよねと、もつと沢山抱きしめてあげればよかったと今でも悔やむことがあります。



そんな私を救ってくれたのは、もちろんこぐま学園の先生方や友達存在もありますが、一番は何より志碧太の笑顔でした。私が号泣している時も志碧太はいつも横でニコニコと楽しそうにしてくれていました。最近では、怒った私の機嫌をとろうと作り笑いまでできるようになりました(笑)。何もできなかった志碧太が周りの方々の沢山の支えのおかげで、ゆつくりですが本当に色々できるようになり、日々驚かされたり楽しませてもらったりしています。

秋には志碧太もお兄ちゃんになります。心配なことも多々ありますが、どんなお兄ちゃんぶりを發揮してくれるのか今からとても楽しみです。

私達親子をいつも沢山の愛情で包んでくださる皆様に感謝しています。これからも宜しくお願いします。
(龍野 志碧太の母)

こぐまLINE



事務部情報課
しかしょ たかし
四ヶ所 孝之

はじめまして、事務部情報課の四ヶ所 孝之と申します。こぐま学園に入職して2年と6か月目を迎えますが、利用者様と直接ふれあえる機会が少ないので、この機会を通じてご挨拶出来ればと思います。

まずは変わった名字なのですが、出身の大刀洗町には10軒以上は存在していますので、お聞きなられたことはあるかもしれませんね。年齢は今年で50歳になりました。

50年を少し振り返ってみたいと思います。大刀洗町で生まれ育ち、工業系の学校を卒業後はコンピュータの会社に就職しました。それからシステムエンジニアとして20年近く働いておりましたが、11年前に大きな転機が訪れました。「このままこの仕事を続けていいのだろうか? 企業に対してでは無く、もっと個人に支援が出来る仕事をしてみたい」という気持ちが急に大きくなってしまい、転職するまでに至りました。そんな私の気持ちを受け入れて下さったのが、ハートウォーカージャパンと

いう歩行器の会社です。知識も経験もない私の前に広がる光景は、笑顔を絶やさず、前向きに純粋に頑張るお子様の姿とご家族、またそれを上回るかの様なこぐま学園のセラピストの雰囲気圧倒されたのを今でも覚えています。自分に務まるのかという不安で一杯でしたが、この環境で仕事が出来ると嬉しさと周りの皆さんから教えて頂きながら、今まで続けることが出来ました。また利用者様の中には、こぐま学園に通われておられる方も沢山いらっしゃって、大変お世話になっていきます。

そんな歩行器の世界に身を置いていましたが、2年前の4月にまた転機が訪れます。歩行器の仕事を継続しながら、こぐま学園の情報処理を担う仕事に携われる事になったのです。情報系の仕事では利用者様と接することはありますが、毎日何度も本館事務室からアリーナ棟の間を行ったり来たりしていますし、歩行器の調整をさせて頂いている時は新館の廊下辺りにおりますので、たくさんの方々とご挨拶が出来ましたら嬉しいです。

今後ともよろしくお願い致します。



一般救急法講習会



7月15日にこぐま福祉会を利用して、保護者様を対象にした一般救急法講習会を行いました。講習会では三井消防署の救急救命士2名をお招きして、小児・乳児に対する心肺蘇生法（胸骨圧迫や人工呼吸の仕方）やAED（自動体外式徐動器）についての説明を聞き、さらに実際に体験しながら学んでいきました。参加者58名の方もいざという時の対応として真剣に取り組みました。

こぐま福祉会では職員や保護者様を対象に定期的に救急救命に関する講習会を開催しています。緊急時に迅速で適切な対応を行えるように、今後も繰り返し学んでいきたいと思っています。

（防災安全委員 木下義博）



グループ紹介



にじグループ

小学校1～3年生の11名が在籍しているグループです。月2回活動しています。

「名前ビンゴ」や「はないちもんめ」等のゲームの中でルールを意識しながらお友だちとの話し合いや関わりを積み重ねています。



よっとグループ

小学校4～6年生の9名が在籍しているグループです。協力し合うことを目標に、ジェスチャーゲームやキックベース等の活動では2チームに分かれ、それぞれのチームで作戦会議をしたり、順番を話し合ったりして行っています。



さくらグループ

小学校1～3年生の17名が在籍しています。月曜日と火曜日の2グループに分かれて、活動しています。小集団の中で自分たちで話し合って順番を決めることや、感想シートでその日の活動を振り返って発表することにチャレンジしています。



たいようグループ

小学校4～6年生の5名が在籍しているグループです。月2回活動しています。子どもたち対大人との綱引きや、子どもたち同士の話し合いや協力など、あそびを通していろいろな学びを積み重ねています。写真はジェスチャーゲームの様子です。



ながれぼしグループ

小学生を対象とした感覚統合グループで、2名在籍しています。主に遊具遊びを用いた活動の中で、体の使い方やお友だち同士の関わり方の練習を行っています。



のぞみグループ

小学校4～6年生の12名が在籍しています。2つのグループに分かれ、少人数で活動を行っています。活動内容やルールを話し合いで決め、ゲームや制作、スポーツを行っています。

発達支援セミナー報告

平成28年7月24日に「第4回こぐま学園発達支援セミナー」を開催しました。保育関係、学校関係、施設関係、医療関係等から、約180名というたくさんの方に参加していただき盛会でした。

このセミナーでは、久留米大学小児科学教室主任教授 山下裕史朗先生を特別講師としてお招きし、「発達障害・気になる子どもたちの正しい理解と支援へ」ライブステージに活かす、今こそ必要な発達支援」と題して、最新の知見等を交えた貴重なお話を伺うことができました。

また、当福祉会スタッフが乳幼児期、学童期に必要とされる支援のあり方や事例等を紹介しましたが、皆様にとって発達障害の子どもたちの将来を見据えた途切れのない支援の在り方を考えて頂ける機会になったのではないかと思います。

終了後のアンケートの回答でもたくさんの方から好評を頂きました。ご参加いただいた皆様方、本当にありがとうございました。

○第5回セミナー

肢体不自由児・重症心身障害児に対する発達支援

日程 平成28年12月4日(日)

(セミナー委員 林)



夏だ！こぐまキャンプ

尾久保研修所「みんなの館」へキャンプに行ってきました。

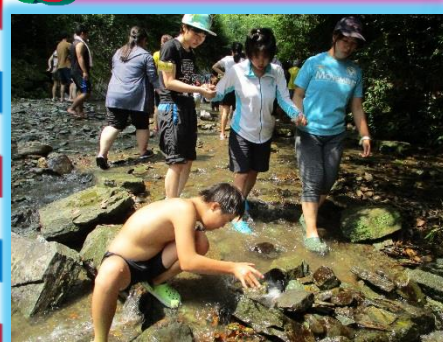
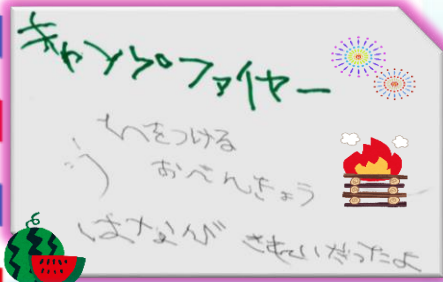
今年は小学生キャンプを8月9～11日、中高生キャンプは8月18～20日の2回に分けて開催しました！

小学生は初めて参加するお子様が多く、みんなドキドキ・ワクワクしていました。火を点けるために協力して薪を割り、具材を切るなど、みんなで作った夜ご飯。目的地まで頑張って歩き、水の冷たさを感じながら蟹やカエルをつかまえるなど、満喫した川遊び。満天の星空の下で行ったキャンプファイヤー。その他にも楽しいことが盛りだくさんでした！

中高生はこれまでに何度か参加しているお子様も多く、落ち着いた様子で、様々な活動に積極的に参加していました。なかでも山登りは子どもたちの体力に合わせ、コースを設定して登りました。途中でくじけそうになりながらも、みんなで応援して励まし合い、最後まで登りきりました！山頂に到着した時の達成感はとても大きかったと思います。

みんなと楽しみ、頑張ったキャンプ：子どもたちにとっても、研修生とこぐまスタッフにとっても、忘れられない夏になったことでしょう。

(キャンプ係 伊藤 雄・高山)



洗剤にもこだわっています

こぐま学園では利用者の皆様の安全と安心を目指して、人と環境に優しい「無添加洗濯石けん」を使用しています。(事業部長 林)

行事予定

10月5日	(水)	べあクラブ社会体験
8月20日	(木)	来園交流
30日	(日)	こぐま学園運動会
11月5日	(土)	避難訓練
8月5日	(土)	べあクラブスポーツ大会
8月8日	(火)	避難訓練

交流保育

9月15日	(木)	味坂保育園
23日	(金)	真愛保育園
29日	(木)	三国保育園
7月7日	(金)	三国保育園
12月14日	(水)	味坂保育園
11月14日	(金)	真愛保育園
4月4日	(金)	三国保育園
4月4日	(金)	真愛保育園

「やら」への意見について

新聞「そら」へのご意見ご要望がある方は、受付横のこぐま意見箱にご投函下さい。アンケート用紙も併せて設置しています。(そら委員会)